

生産性の向上と 働き方改革の推進

佐賀県空調衛生工業会会長 土井 敏行



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス
感染症も二年目を迎え、夏

には無観客という異例な形
で、東京オリンピック、パハリ
ンピックが開催されました。
非常事態宣言下、色々なトラ
ブルを抱えながらも歴史に残
る大会だったと思います。

県内においては、5月に感
染の第5波にかり、日ごと
の感染者発表に一喜一憂した
日々でした。現在でも新たな
変異株が確認されており新型
コロナウイルス感染症に関し
ては未知の部分があり、共存

していく社会への心構えが必
要な時代に入っているのかも
知れません。

昨春秋以降、感染者が減少
傾向で推移したこともあり、
徐々に制限が緩和され、佐賀
県内の経済は回復に向かうと
の発表もありました。建設業
界は比較的新型コロナウイル
スの影響は少なかったもの
の、まだまだ油断できず、中
小企業にとっては相変わらず
の人手不足と人材不足で、先
行きの不透明感は慢性的で
す。

昨年度の事業活動は、感染
対策に注意を払い、会員の技
術講習会等ではできるだけ開
催できるよう工夫を重ねなが
ら行いました。リモート会議が
増える中、やはり直接的なコ

ミュニケーションが必要な場
合もあり今後の課題です。

我々の業界では空調衛生協
会本部を中心に、建設業の担
い手確保の観点から、本年も
引き続き、生産性向上と働き
方改革の推進、建設キャリア
アップシステムの利用拡大、
建設技能者の賃金上昇などに
ついて、関係団体等と連携し
て取り組んでいく予定です。

建設技能者の賃金について
は、設計労務単価が高推移し
ている中、佐賀県の配管工の
労務単価も全国平均並みに
中央との格差を縮められるよ
うな環境を目指していきたい
と考えております。

また、働き方改革について
4週8休の実施がすべての事
業所で定着できるよう、生産

性の向上のための施工の省電
力技術や電子化の普及拡大な
ど、業界の地位向上のために
関係団体と協力しながら今後
も取り組んで参りたいと思い
ます。

佐賀サンライズパークのS
AGAアリーナの屋根部分が
青空の下に見えるようになり
ました。建設業界に関わる我
々にとって徐々に完成してい
く姿を目の当たりにすると、
今の閉塞した状況の中での希
望のように感じます。

今後も関係者各位のご指導
をお願い申し上げますことに
、今年1年が明るい年であ
りますよう皆様のますますの
ご健勝とご多幸をご祈念申し
上げ、新年のご挨拶といたし
ます。

技術士(Professional Engineer)とは

日本技術士会佐賀県支部長 盛永 保弘



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

本年、公益社団法人日本技
術士会は設立71年目を迎えま
す。第二次世界大戦後、荒廃

した日本の復興に尽力し、世
界平和に貢献するため、「社
会的責任をもって活動できる
権威ある技術者」が必要とな
り、米国のコンサルティング
エンジニア制度を参考に「技
術士制度」が創設され、19
51年に日本技術士会が誕生
しました。

技術士法は、1957年5
月20日に制定されました。技
術士等の資格を定め、科学技
術が社会や環境に重大な影響
を与えることを十分に認識し

て、技術士倫理綱領の遵守の
もと業務の適正を図り、もっ
て科学技術の向上と国民経済
の発展に資することを目的と
しています。技術士資格は、
APEC(アジア太平洋経済
協力)地域の15エコノミーが
APECエンジニアの登録を
する制度に参加しており、I
PEA(国際エンジニア協定
国際エンジニア資格制度につ
いても、その正式なメンバー
として参画しています。技術
部門は、機械、船舶・海洋、
航空・宇宙、電気電子、化学、
繊維、金属、資源工学、建設、
上下水道、衛生工学、農業、
森林、水産、経営工学、情報
工学、応用理学、生物工学、
環境、原子力・放射線、総合
技術監理の21部門です。佐賀

県内でも約100名の技術士
が、主に企業内技術士として
活躍しております。

佐賀県支部では、主な事業
として、春と秋の年に2回の
技術懇話会を催し、地域に根
ざした活動の支援とその発信
をしております。令和元年度
からの技術懇話会のテーマ
は、それまでの『減災・防災』
から『地域の活性化』として
おります。コロナ禍の中、中
止した懇話会もありました
が、昨春秋の技術懇話会では、
「まちの未来に、あかりを灯
す」有田のまちなみに人の賑
わいを、「小水力発電に
よる自立した地域づくり」地
域の恵みを未来のちからへ
と題して開催いたしました。

令和2年7月の熊本豪雨、令
和3年8月の佐賀豪雨と異常
気象による甚大な被害が発生
しています。このため、地域
技術者の皆様と連携しなが
ら、安全・安心な県土づくり
を目指すとともに、未来に暮
らす人々に、より良き社会を
継承していけるように尽力さ
せていただきたいと夢を描い
ているところです。

最後になりましたが、皆様
方の益々のご健勝とご発展を
心から祈念申し上げ、年頭の
ご挨拶とさせていただきます
す。